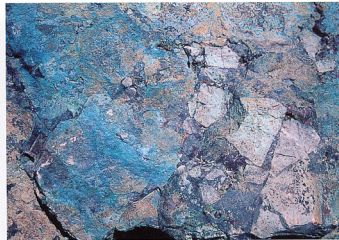


# ペルーのポーフィリー銅鉱床

〈石原 舜三〉



1. 雪を頂くコルディレラの高所にあるセロ ウェルデピットの2景。



2. セロ ウェルデの網状二次富化鉱石、左右21cm。初生銅鉱物が暗灰色の輝銅鉱に変質、黄色斑点は残存する黄鉄鉱。

3. セロ ウェルデの角礫パイプ鉱石、電気石(黒)と共にマトリックスを充たした黄銅鉱が風化作用で緑と青色の銅二次鉱物となる。



4. セロ ウェルデ鉱山のリーチンググラウンド、黒色のポリシンを敷き、その上に低品位の鉱石を乗せ、水をかけてリーチングする。

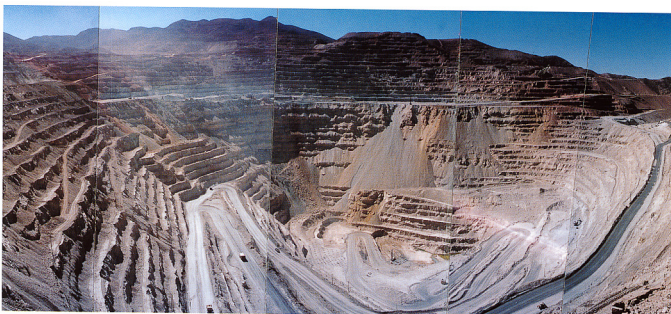
5. リーチング後、銅濃縮液を回収する池。独特の青色を呈する。



6. カホネ鉱山の粉砕室の巨大なボールミルとロッドミル。



7. カホネ鉱山の鉱石運搬。ディーゼル鉱車で鉱石を粉砕室に運び込む。



8. トケバラ鉱山のオープンピット、規模が大きく歴史が長いため巨大なピットに成長した。



9. トケバラ鉱山のクラブハウスの壁、角礫パイプ鉱石が埋め込まれている。



10. トケバラ鉱山における電気分解後の最終製品の銅板。